



学 会 通 信

第 105 号

2023 年 1 月 31 日発行

目次

日本教育メディア学会第 29 回年次大会 御礼	2
2022 年度 第 2 回研究委員会 研究会のご案内（現地開催予定）	3
第 10 期 第 6 回理事会（定例） 議事録(案)	4
2022 年度 定例総会 議事録	6
論文投稿のご案内	8
学会費納入のお願い，入会者・退会者	9

日本教育メディア学会第 29 回年次大会 御礼

第 29 回年次大会は、2022 年 11 月 26 日(土)・27 日(日)の 2 日間で、椋山女学園大学で開催されました。本学会の年次大会としては 3 年ぶりの対面開催となり、学会員・非会員含めてちょうど 200 名の参加がありました。

本大会では、2 つの大会企画を実施しました。1 日目には「インフォーマルラーニングにおける ICT 利活用」をテーマに、亀井美穂子(椋山女学園大学)のコーディネートののもと、会田大也氏(山口情報芸術センター)と小川直人氏(せんだいメディアテーク)にご登壇いただき、社会教育施設が地域の中で新旧メディアを活かして市民の学びの学習環境のデザインについて話題提供していただきました。また対談者として山口好和氏(北海道教育大学)、宮下十有氏(椋山女学園大学)にご登壇いただきました。

続くシンポジウム「GIGA スクール構想における教育データの活用」では、堀田博史(園田学園女子大学)のコーディネータのもと、ICT 関連企業から石黒広信氏(コニカミノルタ㈱)、伊藤浩氏(シャープマーケティングジャパン㈱)、清遠和弘氏(東京書籍㈱)、佐藤正浩氏(日本マイクロソフト㈱)より、教育データの利活用を支えるシステムやその活用事例といった情報が提供され、また有効な活用に向けた議論が行われました。

2 日目には、課題研究、一般研究、企画委員会特別セッションが開催されました。

課題研究では、「映像コンテンツを活用した SDGs 教育」「児童生徒 1 人 1 台の情報端末の活用とメディア・リテラシーの実践」「GIGA スクール時代の情報活用能力」「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法への取り組み」の 4 つのテーマを設定し、コーディネータの進行のもとで、合計 15 件の発表があり、活発な議論が交わされました。

一般研究発表では、午前は 7 セッション、午後は 8 セッションで、合わせて合計 57 件の発表がありました。また、企画委員会特別セッション「現職教員のための実践研究はじめての一步」も午前に開催され、現職教員が実践研究を進める事例の紹介や、実践研究の進め方の解説、参加者の意見交換がありました。

本大会では、予想を大きく超える発表件数となり、いずれのセッションでも熱のこもった議論が展開されました。



(文責：椋山女学園大学 亀井美穂子)

2022年度 第2回研究委員会 研究会のご案内（現地開催予定）

テーマ「メディア・リテラシー育成を目的としたメディア制作実践のデザインと
学習者の評価／一般」

■日 時 2023年3月18日(土) 10:00-15:35

■会 場 広島経済大学 アカデミック・コモンズ 明德館

<https://www.hue.ac.jp/facilities/index.html#campusmap>

■担 当 広島経済大学メディアビジネス学部メディアビジネス学科・後藤心平

新型コロナウイルスや選挙に関わるフェイクニュースがネット上で拡散され、人々がそれを信じてしまう状況が世界中で起きています。子どもたちにメディア・リテラシーを身につけさせようとする動きは以前よりも増し、米国ではメディア・リテラシー教育を初めて法律で義務付けた州もあり、メディア・リテラシー教育は益々重要になってきているといえます。

メディア・リテラシーの育成をねらった代表的な実践としては、メディア制作が挙げられます。しかし、メディア制作においては、制作物の出来栄えや制作するための機器の操作技術に意識が向く傾向があり、メディア・リテラシーを身につける上で必要な批判的な分析のための基本的な知識の獲得に関する学習がおざなりになりがちという課題があります。

そこで、今回の研究会では「メディア・リテラシー育成を目的としたメディア制作実践のデザインと学習者の評価」をテーマに発表を募集します。本テーマに関連した研究だけでなく、教育メディアに関する幅広い発表（一般）も歓迎いたします。

■開催方法

対面による開催を予定しています（オンラインによる発表希望も受け付けます）。

■発表申込締切 2023年2月7日（火）（申込を延長しました）

■原稿提出締切 2023年2月28日（火）

■参加申込締切 2023年3月14日（火）

発表者と共同研究者は必ず参加申込を行ってください。発表者以外の方の参加申込も大歓迎です。日本教育メディア学会会員でなくとも発表・参加が可能です。

■参加費 無料

■参加・発表申込フォーム

<https://forms.gle/hPFehP43NE5ZMb6C7>

第 10 期 第 6 回理事会（定例） 議事録(案)

[日 時] 2022 年 11 月 26 日（土）10:00-11:00

[場 所] 椙山女学園大学

[出席者] 会長，理事 22 名，監事 1 名

会長：中橋雄

理事：宇治橋祐之，村上正行，池尻良平，市川尚，稲垣忠，岩崎千晶，小柳和喜雄，亀井美穂子，黒上晴夫，後藤康志，今野貴之，佐藤和紀，佐藤慎一，鈴木克明，関戸康友，泰山裕，高橋純，堀田博史，中川一史，永田智子，山本良太，渡辺雄貴

監事：佐々木輝美

事務局：高林友美

[欠席者]

理事：浅井和行，岸磨貴子，小林祐紀，寺嶋浩介，堀田龍也

監事：久保田賢一

<審議・報告事項>

(1) 入会者・退会者について（事務局）【資料 1】

資料に基づき，前回理事会以降の入会者・退会者について説明があり，審議の結果承認された。

(2) 各種委員会規程の改定について（事務局）【資料 2】

資料に基づき，各種委員会規程の改定が示され，承認された。一部，誤字と表現の修正を行うことが確認された。

(3) 編集委員会(国内担当)(小柳)【資料 3】

資料に基づき，日本教育メディア学会査読新システムの運用を開始したこと，『教育メディア研究』特集号「DX に向けた教育メディアの利活用」(Vol.29, No.1)を刊行したこと，『教育メディア研究』(Vol.29, No.2)を編集中であること，投稿規程とテンプレートの整合性を確認中であることが報告された。

資料に基づき，投稿規程の改訂が示され，承認された。一部，誤字と表現の修正を行うことが確認された。

(4) 編集委員会(国際担当)(佐藤)【資料 4】

資料に基づき，査読・電子出版システムの運用を開始したことが報告された。

資料に基づき，論文誌の査読・刊行状況が報告された。

(5) 研究委員会(国内担当)(稲垣)

今年度を実施した国内研究会の結果が報告された。

2023年3月18日開催の国内研究会の進捗が報告された。

(6) 研究委員会(国際担当)(山本)【資料5】

資料に基づき、ICoME2022の開催の結果と、ICoME2023の予定が報告された。

資料に基づき、ICoMEのConference Paper投稿規定に関し、二重投稿を抑制するための改訂を検討していることが報告された。

(7) 広報委員会(岩崎)【資料6】

資料に基づき、2023年度学会通信台割りが示され、承認された。

資料に基づき、学会のサーバーを移行したこと、学会ホームページのトップページイラストを変更したことが報告された。

(8) 企画委員会(中川)【資料7】

資料に基づき、日本教育メディア学会年次大会での特別セッションとして「現職教員のための実践研究はじめの一步」を開くことが報告された。

(9) 年次大会委員会(堀田博, 亀井)

今年度の大会開催に関する挨拶が行われた。

次年度の年次大会は、2023年11月4日・5日に関西大学初等部で行う予定であることが報告された。

また、次年度の年次大会の理事会については、大会前日に開催する予定であることが報告された。

(10) 日本教育メディア学会論文賞選考委員会(黒上)【資料8】

資料に基づき、論文賞選考の結果と推薦理由が示され、承認された。

(11) その他

学会通信第104号に基づき、中橋会長より、総会の議案と流れが報告された。

・次回理事会開催について

2023年4月22日(土)午後、オンラインにて開催予定。詳細は後日メールにて連絡予定。

以上

2022 年度 定例総会 議事録

1.日 時：2022 年 11 月 26 日（土）13:00－13:50（年次大会第 1 日目）

2.場 所：椙山女学園大学

3.内 容：

（1）議案

議事に先立ち、今野事務局長から、有効な委任状（議決権を議長に委任）が 39 通電子総会システムより提出されており、総会への参加者が 63 名であり、学会会則第 44 条に従って 2022 年度定例総会が成立していることが報告された。また、会場校を代表して亀井年次大会委員会副委員長より挨拶があった。

第 1 号議案：2022 年度事業報告及び収支決算承認の件

今野事務局長より、第 1 号議案として機関誌発行、年次大会の開催、学术交流等、2022 年度事業報告及び収支決算（案）が報告された。佐々木監事より、通帳、領収書、帳簿を確認した結果、正確であったことが報告され、審議の結果、2022 年度事業報告及び収支決算（案）について、異議なく承認された。

第 2 号議案：2022 年度事業計画及び収支予算承認の件

今野事務局長より、第 2 号議案として、機関誌発行、査読システムの運用、年次大会の開催、学术交流等、2022 年度収支予算（案）が報告された。審議の結果、2022 年度事業計画及び収支予算（案）について、異議なく承認された。

第 3 号議案：日本教育メディア学会会則の変更について

今野事務局長より、第 3 号議案として、日本教育メディア学会会則の変更が報告された。審議の結果、日本教育メディア学会会則の変更について、異議なく承認された。

第 4 号議案：その他

小柳編集委員会（国内ジャーナル）委員長より、第 4 号議案として、「教育メディア研究」投稿規程の改訂が報告された。審議の結果、「教育メディア研究」投稿規程の改訂について、異議なく承認された。

（2）報告事項

①表彰「日本教育メディア学会論文賞」審査報告と結果報告

黒上日本教育メディア学会論文賞選考委員会委員長より「日本教育メディア学会論文」審議経過と結果が報告され、表彰が行われた。

受賞者名：村井明日香、宇治橋祐之、浅井亜紀子、齋藤玲、堀田龍也

論文名：テレビ・ドキュメンタリーに対する番組制作者と大学生の意識・態度の違いに関する調査研究
掲載論文誌：教育メディア研究 第28巻第1号（研究論文）

②2023年度年次大会の件

2023年度年次大会が、2023年11月4日－5日に関西大学初等部での開催を検討していることが報告された。

論文投稿のご案内

編集委員会

<論文投稿のご案内>

『教育メディア研究』では、一般論文を広く募集しています。年 2 冊を発刊するため、発刊時期のかかわりで〆切は定めています。しかし随時受け付け、その都度、査読プロセスを始めています。

多くの会員の方からの投稿を期待しています。次号『教育メディア研究』(Vol.30, No.1)は、2023年 2 月 15 日を締め切りとして、2023 年 8 月末に発刊を予定しております。

<書評に関する情報提供のお願い>

教育メディア研究に関わる書評に関する書籍の情報を募集しています。自薦・他薦は問いません。上記情報、およびご献本を頂いた書籍については、編集委員会で拝読させていただき、本学会の趣旨を検討した上で、学会誌「教育メディア研究」に書評として掲載したり、Web サイト・ニューズレター等で紹介したりさせていただきます。

推薦いただいた書籍及び献本いただいた書籍が広く学会員の方々に読まれ、本学会の研究へと波及していくことを願っております。

献本先：日本教育メディア学会事務局

送り先：〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1

明星大学 教育学部 今野貴之 研究室

上記問い合わせ先：日本教育メディア学会編集委員会

editor[アットマーク]jaems.jp

学会費納入のお願い，入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日）の年会費（正会員7,000円，学生会員4,000円）が未納の方は，会員システムからお手続きください。学会HPの「会員マイページ」よりアクセスいただくことが可能です。事務手続きの漏れを防ぐためにも，会員システムを通じたお支払いにご協力ください。

銀行振り込みをご希望の場合，下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨニイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

※ゆうちょ銀行口座からの振り込みの場合は，下記記号番号をご利用ください。

記号：14160

番号：8658501

- ※ 振込手数料は，ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合，手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は，**振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」**にして下さい。それが出来ない場合は振込後，事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には，学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は，会費納入に併せて年度ごとに学生証などの証明書類のスキャンまたは写真データを会員システム経由で事務局宛に提出してください。卒業・修了などにより学生会員の条件を満たさなくなった場合は事務局にメールでお知らせください。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では，「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また，学会論文誌「教育メディア研究」をご登録の住所に郵送しております。これらを確実にお届けするために，定期的に**会員マイページにログインの上，登録情報の確認**をよろしくご願いたします。特に，生年月日の**登録**が初期設定のままの場合が多く見受けられますが，名誉会員等の表彰が正しく行えない場合がありますので，今一度ご確認ください。

また，まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も，この機会にマイページ登録をお願いいたします。

【入会者・退会者・除籍者】※敬称略

新入会員・正会員 (7名)・・・市村 由起, 井上 功一, 東森 清仁, 佐竹 直人, 笠原 秀浩,
三浦 一郎, 坂口 真

新入会員・学生会員 (9名)・・・永井 都月, 三輪 理人, 青木 留理, ラスク ガブリエル, 葛 文翔,
張 翹楚, 鍾 丹虹, 陶 玉ゲン, 尹 聆菲

退会者・正会員 (4名)・・・伊藤 敏朗, 須田 幸次, 田畑 圭介, 西尾 三津子,

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条では, 会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。会費の納入状況についてご不明な点がございましたら, 事務局 (office@jaems.jp) までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については, 以下のように定める。

(1) 正会員, 学生会員, 団体会員ならびに購読会員が, 会費を3年間滞納したとき, その年度末をもって除籍され, 会員の資格を喪失する。

(2) 除籍された元会員が再入会するとき, 滞納会費の納入を要する。

会員総数 370名・12団体

名誉会員 : 6名*

正会員 : 312名

学生会員 : 58名

団体会員 : 6団体

購読会員 : 6団体

(2023年1月20日 現在)

*会員総数に含まず。6名の氏名は学会HPにて公開。

日本教育メディア学会 事務局	広報委員会
〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1 明星大学 教育学部 今野貴之 研究室内 E-mail : office@jaems.jp 学会ホームページ URL : http://jaems.jp/	委員長 岩崎千晶 (関西大学) 副委員長 永田智子 (兵庫教育大学) 委員 井ノ上憲司 (大阪大学) 尾崎拓郎 (大阪教育大学) 高橋暁子 (千葉工業大学) 多田泰紘 (京都橘大学)